



2020年(令和2年)12月13日 日曜日

きょうは何の日

ビタミンの日



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市
北区吉野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

コロナ禍の体験つづる

子ども作文表彰 埼玉新聞社賞に平野さん

コロナ禍について考えたことをテーマにした子ども作文コンクールの表彰式が9日、さいたま市大宮区で開かれた。市内14小学校の5、6年生が応募。休校や行事の中止など、つらい体験を経て気付いた日常生活の大切さや、自分の成長についてつづられている。

埼玉新聞社賞には、美園小学校6年、平野咲空(さくら)さんの「あたり前のことが幸せ」が選ばれた。平野さんは「こういう賞をもらったことがないので、本当にうれしい。作品に書いたように、生きていくことの幸せを大切に感じたい」と喜びを語った。

同コンクールは、国際ポランティア団体の埼玉キワニスクラブ(武井幸男会長)主催、埼玉新聞社などが後援し今年で11回目となる。その他の主な受賞者は次の通り(敬称略)。

さいたま市長賞▶高橋里都(芝原小6年)▶市教育長賞▶中山湊太(芝川小6年)▶市PTA協議会長賞▶南雲彩花(芝川小6年)▶NHKさいたま放送局長賞▶楠永恵(芝川小5年)▶産経新聞社さいたま総局長賞▶神田愛乃(大久保小5年)▶テレビ玉賞▶佐藤遥香(芝川小5年)▶Acoreおみや賞▶中泉広大(芝川小5年)▶埼玉キワニスクラブ会長賞▶平川千晴(与野西北小6年)▶優秀賞▶松井こうめ(道祖土小5年)、高橋マリテ(芝川小5年)、新倉優美(美園小6年)、西川惺樹(芝川小5年)、関根裕真(芝川少5年)、八太日花里(大門小6年)、柳瀬穂香(大久保小5年)、平澤蓮花(大宮南小6年)、梅心春(美園小6年)

マコンクー



埼玉新聞社賞を受賞し笑顔を見せる平野咲空さん。9日、さいたま市大宮区の清水園